2021

大ナゴヤ・ユニバーシティー・ネットワーク 2021年度活動報告書 Dai Nagoya University Network ANNUAL REPORT 2021

あなたがいれば、カタチが変わる

ナゴヤを舞台に、 発見と創造で、 一人ひとりの世界を変える

「NPO法人大ナゴヤ・ユニバーシティー・ネットワーク(以下DNU)」は、

「まち」と「学び」を掛け合わせて生まれたプロジェクト「大ナゴヤ大学」を運営する<mark>ため、</mark>

2009年に設立されました。

2019年からは「あなたがいれば、カタチが変わる」という理念を添えて、

現在までいくつもの活動やプロジェクトをまとめる器として、在り方を変化させてきました。

つねに何かを生み出し続けているまちは、面白い人の宝庫です。

そんな人たちとの出会いを通して、

自分のなかにすでにあった「未来の可能性」を見つけ、気づきを得て、

一人ひとりが行動を変えていく。

「学び合う」場をつくる。人と人とがつながっていく。

つながった仲間と、活動やプロジェクトを立ち上げる。

発見と創造があるコンテンツをつくる。

学び続けることで、一人ひとりの見えている世界が変わる。

この積み重ねが、やがてまちや社会を形づくっていくのではないでしょうか。

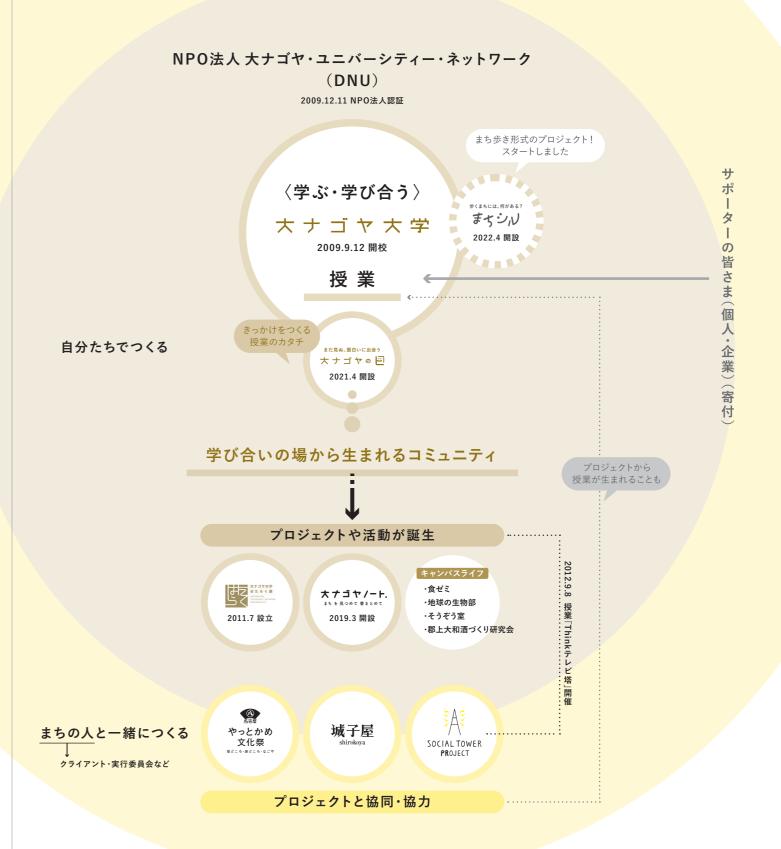
「あなたがいれば、まちが変わる」

あなたがこのまちの主役です。

「何をやるか | よりも 「誰とやるか | を大切に。

ひとりの思いを大切に、これからも場をつくり続けていきます。

NPO法人 大ナゴヤ・ ユニバーシティー・ ネットワークの全体像



大ナゴヤ·ユニバーシティー·ネットワーク 2021年度活動報告書

Dai Nagoya University Network ANNUAL REPORT 2021

もくじ

- 05 自分たちでつくる
 - 06-07 大ナゴヤ大学
 - 08-09 大ナゴヤの日
 - 10-11 ボラスタインタビュー ワタシの気づき、変化
 - 12 はたらく課
 - 13 大ナゴヤノート.
 - 14 キャンパスライフ
- 15 まちの人と一緒につくる
 - 16 やっとかめ文化祭

城子屋

SOCIAL TOWER PROJECT

- 17 DNUからのお知らせ
- 18 DNU理事・職員より
- 19 財務報告

自分たちでつくる

ナゴヤのまちをフィールドに、人と人とが学びを通し、つながる。 世代も職業も異なる多様なメンバーが、 ボランティアスタッフやコーディネーターやエディターとなって

主体的につくり上げている事業がいくつもあります。

05

大ナゴヤ大学

誰でも先生、誰でも生徒。 学びの種は、 まちにあふれている

大ナゴヤ大学には校舎がありま せん。まちがまるごとキャンパス です。まちの人が先生に、学びた い人が生徒となり、ゆかりの場 所が教室に変わります。授業の テーマは、暮らしや働き方、まちの 文化・歴史、アート、農業、カル チャー、ものづくり、スポーツな ど多種多彩。つねに何かを生み 出し続けているまちは、学びの 宝庫です。

授業を通じて、 未来の可能性と出会う

授業は、知識を学ぶだけの場で はありません。先生の言葉が胸に 響き、参加者の多様な価値観が 交わることで、気づきが芽生え、 自分自身を見つめ直す機会にも なります。さまざまなヒト・モノ・ コトと出会う経験が糧となって、 ライフスタイルが変わった人、 新しい挑戦を始めた人もいます。

みんなでつくる、 学び合いの場

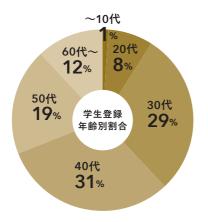
大ナゴヤ大学の授業は、たくさんの ボランティアスタッフと一緒に運 営しています。「一人目の生徒とし て、自分が受けたい授業をつくる という考えを大切に、コーディネー ターとして企画にチャレンジする ことも。授業をよりよい場にする ための振り返りを行うなど学び 合いの場づくりを通じ、自分の思い を言葉にする機会も多く、"あり たい"自分に気づける場所です。

大ナゴヤ大学では、人が集う場をつくり、 「授業 | という 「未来の可能性 | と出会うコンテンツを提供しています。

誰でも生徒 学生登録数 **5733**人







まちじゅうがキャンパス 教室	370 ヵ所
まちにいるあの人! 先生	685 _x
「面白がる視点」で授業づくり 授業コーディネーター	83 _A
垣根なく生まっています	004

ボラスタ

294 ₄

2021年度実績

申し込みあり 37コマ **471**人

PICK UP

ぐるぐるから見える景色~変わる名駅を妄想する会

◎開催日時 | 2021年6月26日(土)15時~16時30分 ◎教室 | 飛翔 ◎先生 | 名古屋駅地区街づくり協議会 ◎協力 | imom.inc ◎授業コーディネーター | 山田 卓哉、そうぞう室

名古屋駅の桜通口にあるモニュメント「飛翔」が名古屋市の駅前整備工事に 伴い、いよいよ撤去されるということで、授業を企画しました。特別に「飛翔」 の中に入り込んで、名古屋駅の都市開発に考えを巡らせました。



[Sustainability Class]

SDGsを学び、体験しよう

~錦二丁目を事例に都市とSDGsの関係を紐解く

◎開催日時 | 2021年11月6日(土)10時30分~12時、他 全4回 ◎教室 | YouTube Live ②名畑 恵(NPO法人まちの縁側育くみ隊 代表理事/錦二丁目エリアマネジメント株式会社 代表取締役) ◎授業コーディネーター | 山田 卓哉

N2/LABの企画する「錦二丁目 SDGs WEEKs」の開催に合わせて、名古屋に 住む私たちが暮らしのなかにある社会課題について考え、向き合えるきっかけ をつくろうと企画。本授業を含め、4つの授業を開催しました。



400年の歴史を誇る老舗料亭『河文』で餅花づくり ~丑から寅へ~

◎開催日時 | 2021年12月26日(日)17時~20時30分、28日(火)10時~14時 ◎教室 | 料亭河文 ◎先生 | 香川 絢子(河文 若女将)

◎授業コーディネーター | 大野 嵩明、小林 つぐみ、井上 麻衣、押村 玲

2015年から恒例となった本授業も最終回です。夜の部と昼の部を設け、名古屋 最古の歴史をもつ料亭 河文でお正月飾りの餅花づくりを体験。長年受け継が れてきた伝統や文化を存分に感じ、楽しい時間を過ごしました。



これまでの授業レポートが見られます! 「大ナゴヤ大学」のWebサイトへ



*ナゴヤ** 大ナゴヤのビ

大ナゴヤの日とは?

2021年4月から「まだ見ぬ、面白いに出会う」をキーワードにさまざまな授業を企画してきました。多様なテーマを扱うことで偶然の出会いを生み、授業を通して学びの面白さと出会える場を目指します。

まだ見ぬ、面白いに出会う 大 ナ ゴ ヤ の ご 毎月第2土曜 参加費無料

*当日の飲食費や材料費などの実費は各自ご負担いただいております。 *8月は「夏休み」としてお休みです。

どんな授業?

毎月第2土曜に、参加費無料の授業を展開しています。大ナゴヤの日の授業は、老若男女問わず集まってひとつのテーマについて考えながら交流することで、思わぬ出会いや気づきが生まれる学び合いの場です。









学び合いの場から生まれるコミュニティ

大ナゴヤ大学では「みんなでつくる」を大切に、授業という"学び"の場をボランティアスタッフ(=ボラスタ)と一緒につくってきました。

毎月第2土曜の「大ナゴヤの日」を中心に、授業後には「振り返り」の機会を設け、メンバー間での"学び合い"の場としての機能も持たせています。さらに、同日にボラスタ同士がお互いをもっと知るためのオンライン交流会「クローズアップ」や懇親会も開催。定期的に人が集まり、ゆるやかなつながりが広がっていく環境から、コミュニティが生まれています。

大ナゴヤ大学のコミュニティでは、次のふたつの言葉を大事にしています。

「あなたの好きも みんなの好きも たいせつ」

「学び合いから生まれる次の一歩」

"好き"という感覚を大切にするなかで、"行動してみる"文化が育まれ、 コミュニティからさまざまなキャンパスライフの活動が誕生しています。







ボラスタ行動指針

相手を

尊重する



大切にする

やりたいという 気持ちを



自分の思いを 言葉にする 4

学び合う 姿勢をもつ 5

何事も 面白がる

主な活動 =

noteマガジン

noteマガジン「大ナゴヤな ひと。」では、多種多様な バックグラウンドをもつ大ナ ゴヤ大学の各メンバーに

フォーカスを当てた記事を随時更新しています。



クローズアップ

ボラスタ同士がお互いを もっと知るためのオンライン 交流会。直接会えない状況 を逆手にとったコミュニ ケーションの場として定着 し、毎回ゲストとのトークに は新たな発見があります。



寄付について

サポーターの皆さまからいただいた 寄付金は、授業における講師謝礼な どに充てさせていただきました。 2022年度におきましては時代の変化 に合わせてサポーターの仕組みの見 直しをしていくことを考えています。

サポーター費用

年間 サポー

ワンタイ<u>ム</u> サポート

500円/月 1,000円/月 2,000円/月

指定なし

◎「大ナゴヤの日」に NPO法人 関わる費用 大ナゴヤ・ユニバーシティー・ネットワーク 各種運営費 大ナゴヤ大学 (事務所やWebサイト に関わる固定費) 授 業 …など ポ ·講師謝礼 タ コーディネーター費 の コミュニティ 大ナゴヤ大学の運営と共に、関わる人たちが集う サポーターに さ コミュニティが運営され続ける なっていただくと ま プロジェクトや活動が誕生 ◎月々の実施報告 大ナゴヤ大学の活動を基軸に、 ◎報告会・報告書の発行 まちを彩る新たなプロジェクトが生まれる …など

ワタシの気づき、変化



どう一くんさん

どぅーくんさんの歩み @DNU

2017.9 DNUのインターンシップに参加2018.3 授業コーディネーターデビュー

2018.12「Meetup!」運営に関わる **2020.1** noteマガジン「大ナゴヤなひと。」立ち上げ、

運営に関わる

2021.12 「まちシル」の立ち上げ準備に関わる

「好き | 「やってみたい | を大事に行動していく

- A1. 名古屋のまちに関わりたいという思いから、最初はインターン生としてDNUに参加。自信喪失していた当時、大ナゴヤ大学の人たちと関わるなかで、自分の「好き」や「やってみたい」をもっと大事にしていいんだと気づきました。noteマガジンや「まちシル」の活動も「ボラスタさんのことをもっと伝えたい」「まちをもっと知りたい」と自主的に参加したもの。この気づきは、現在の仕事選びにもつながっています。
- A2. 職場や学生時代の友人以外の関わりを持てたことで、多様な価値 観に触れられました。その結果、興味の幅が広がってさまざまな分野 の資格を取得してみたり、現職を続けながら通信制大学に通うよう になったりと、変化が生まれました。
- A3. まち歩きのプログラム「まちシル」は、2022年に本格始動。ガイドしてくれる先生の視点でまちを見ると、新鮮な発見があります。noteマガジンの運営も続けながら、今後も自分にできることをお手伝いしていきたいです。

いるんだ!]と思ったのを覚えています。2021年には、コミュニティナースをテーマにした授業を企画。歴史や文化を学ぶことにフォー

大ナゴヤ・ユニバーシティー・ネットワークのさまざま

な場面で活躍する人たちにお話を聞いてみました。

それぞれにどんな変化が訪れたのでしょう。

カスするだけでなく、このまちでの暮らしを居心地よくしていくことも、 大ナゴヤ大学でできる活動なのかもしれないと感じました。

身近なまちを楽しむ気持ちは12年間変わらない

A1. 留学先で出身地のことをうまく話せなかった体験から、地元をもっと

知ろうと大ナゴヤ大学に参加。「ナゴヤのことを好きな人がこんなに

A2. まちを見る目線が備わり、まちの変化に敏感になりました。また、アクションを起こす際のハードルが低くなったと思います。カフェ企画や授業の立案、また進行役など、興味があることへの行動を後押ししてくれる風土にかなり助けられています。

A3. 子育て中のため、活動のペースはゆっくりと。つねにアンテナを張りつつ、授業のタネを蒔いています。引越しをして新しい環境で暮らし始めたので、せっかくならこの地域に根ざした活動もしてみたいです。

Q1. 活動を通して、どんな「気づき」がありましたか?

Q2. あなたの「暮らし」「考え方」「行動」に起きた変化は?

Q3. これからどんな活動をしていきたいですか?



うーなさん

うーなさんの歩み @DNU

2009.6 開校前のオープンキャンパスに生徒参加 交流会などを経て、ボラスタ登録

2012.3 授業コーディネーターデビュー その後、ボラスタリーダーを任される

2013 有志で「大ナゴヤカフェ」を不定期開催 ~2015

2021.6 「コミュニティナース」授業を企画



おおしまひでひろさん

おおしまひでひろさんの歩み @DNU

2018.10「やっとかめ文化祭」に大使として初参加 (以後、毎年やっとかめ大使に参加)

 2021.6
 大ナゴヤ大学ボラスタ登録

 2021.8
 noteマガジンチーム参加

 2021.12
 録年会運営メンバーとなる

 2022.1
 つくり方ゼミ参加

 2022.2
 noteマガジン「大ナゴヤなひと。」取材・執筆デビュー

ひとりでは気づけなかったナゴヤの姿が見えてきた

- A1. 「何もない」と言われがちな名古屋で、それぞれの見方で地元に 関心を持ち、面白がって関わる人たちが世代問わずいるのだと知り ました。"ナゴヤへの関心"で集まった人たちとの交流を通じてまち の魅力を発見するうちに、地元への愛着が深まりました。
- A2. 大ナゴヤ大学のメンバーを紹介するnoteマガジンの運営チームに参加。記事制作をするなかで「自分以外の人がまちをどう見ているのか」ということにも目が向くようになりました。初担当記事では、理事長の大野さんにインタビュー。DNUの現在地を知り、自分なりに考える機会になったと思います。授業テーマに対するシンプルな興味だけでなく、企画の裏側にある目的などを意識することも増えました。大ナゴヤ大学を見る視点が、「点」から「線」へと変わった気がします。
- A3. 自分なりの"ナゴヤ"をさらに深め、いずれは授業コーディネーターなどの立場から発信できるようになりたいです。

自分にできることを少しずつ、交流の場も継続

- **A1.** 「どこにでも授業のネタは転がってる」と気づいたのと同時に、形にしていくことの難しさにも気づきました。それでも、「楽しむ側」だけでなく「楽しみをつくり出す側」になりたいです。
- A2. 人との出会いは、いろんな可能性を生み出してくれるはず。「コロナ 禍で人と会う機会がないなら、オンラインでつながればいい!」と、 ボラスタのコミュニケーションの場「クローズアップ」をスタートさせ ました。毎回ひとりのゲストにスポットを当てることで、短時間で その人のことを知ることができ、共通点が見つかるように。情報が集まる場でもあるので、人と語り合う楽しさだけでなく、視野が広がる 実感も得られています。
- A3. コーディネーターになって、自分が感じる"ワクワク"を形にした授業を つくってみたいです。今は手探りですが、「難しそうだからやめておこ う」ではなく、「行動すれば、やがてはできるようになる!」と前向きな 気持ちで活動に取り組んでいます。



マルタさん

マルタさんの歩み @DNU

2012.1 友人に誘われて初めて新年会に参加し、 大ナゴヤ大学を知る その後、生徒として数々の授業に参加

2016.11 初めてボラスタを体験 **2021.5** 「クローズアップ」を立ち上げる



- はたらく課 -

そんな"はたらく"との出会い

出会いという言葉には、人との出会いだけでなく、多種多様な物事との「めぐりあい」という意味もあります。 「はたらく課」は、"はたらく"とのめぐりあいを生み出す活動です。今まで知らなかったはたらき方を知り、職業 を知り、十人十色の人となりを知る。いろんな"はたらく"を知ることで、これからの人生が変わっていくかもしれ ません。大ナゴヤ圏のはたらき方、生き方にスポットをあて、"はたらく"を通じて人と人とをつなげています。 ◎運営:2011年に、大ナゴヤ大学のボラスタが有志で集まり立ち上げた活動です。原則月1回定例ミーティングを開催しています。

2021年度の「はたらく課」のトピックス

「まちの求人案内」を 掲載

2020年7月、はたらく課のWeb サイトを一新し、求人メディアと しての機能をさらに強化。まち の求人案内「ハタラクデアイ| によって、新しい"はたらく"と 出会った人も出てきました。こ れからも、求人記事を通じて、 "はたらく"との出会いを丁寧に つくっていきます。

掲載記事数







「はたらくインタビュー」を 掲載

はたらく課の活動の原点であ る. はたらく人へのインタビュー 記事。地道に積み重ね、これま でに25名の記事を公開しま した。25通りの"はたらく"を、 覗いてみてください。

掲載記事数





「ハタラクデアイ」・ 「しごとバー名古屋 |を 開催

はたらく課が開催するイベント 名をWebサイトにあわせて 「しごとバー名古屋 | から「ハタ ラクデアイ | に変更。2021年も 引き続き、オンラインで多様な はたらく人たちとのトークセッ ションを配信しました。

「ハタラクデアイ」 開催回数

「しごとバー名古屋」 開催回数







これまでの記事やイベントが見られます!「はたらく課」のWebサイトへ

About

大ナゴヤノート.

まち を 見つめて 書きとめて

まちを見つめて 書きとめて

「大ナゴヤノート.」は、エディターたちがまちで「いいな」「面白い」と感じたヒト・モノ・コトを、素直な 言葉で記事にしていくメディアです。2022年3月に開設3周年を迎えました。それぞれの目線を通して、 まちをいつもよりじっくりと見つめる楽しさを伝えています。

2021年度の「大ナゴヤノート」のコンテンツ

/- F.

エディターがまちを各々の目線で切り取り、書き とめた記事を掲載。書き手独自の視点が、読む人の 新しいまちの楽しみ方を見つけるきっかけになれば と思っています。同じテーマについて複数のエディ ターが記したオムニバス形式の記事も。

2021年度実績 ノート.掲載記事数











オープン/ート.

大ナゴヤノート.のエディターたちがしているように、 まちを自分の目線で見つめに出かけてみるフィール ドワークです。参加者それぞれが見つけた魅力を 共有し、お互いに視野を広げられる機会をつくって きました。

2021年度は開催なし



誰でも書くことに チャレンジできる 学び合いの場に

大ナゴヤノート.のエディターは、書くことを仕事にしている人、普段は他の仕事をして いる人、大学に通っている人などさまざまです。多彩な経験と感性からアドバイスし合い、 互いに学びを得ています。各々の伝えたいことをじっくりと言葉にできる場です。 新しいエディターも随時募っています。

これまでの記事やイベントが見られます! 「大ナゴヤノート.」のWebサイトへ



食ゼミ syoku semi

大ナゴヤ大学の授業「マルシェ・ジャポンでカービング体験」に参加 した生徒からの声で2010年3月に結成された食ゼミ。農業、調理、社会 見学など、メンバーが興味のある分野で活動しています。2021年はコロ ナ禍の影響で集まることが難しい状況ながら、4回のゼミを開催できま した。2022年はしっかりと感染対策をした上で、工夫しながら活動の 機会を広げていく予定です!



地球の生物部



「地球の生物部」は、まちの一角にある植栽スペースで毎月第1木曜の 朝8時から1時間ほど、花植えや草取り、水やりなど植物のお世話をして います。公共空間を自分たちで楽しく手入れすることで、自分のまちに 関心をもってもらうきっかけの場をつくっています。

- ◎生物庭手入れ:第1木曜8:00~9:00頃(自由参加)
- ◎生物庭の場所:地下鉄矢場町駅4番出口を南へ。若宮大通久屋 交差点付近







そうぞう室



「そうぞう室」は"ナゴヤの視野を5°広げる"をコンセプトに、モノをつく る創造力と、考えや思いをめぐらす想像力を育てることを目的とした 研究室です。2021年はコロナ禍で活動が難しい時期でしたが、そうぞう 室定番の落語会や、名古屋駅前のモニュメント「飛翔」を使ったイベ ントを開催できました。今後も少しだけ視野が広がるような楽しい会を 企画できればと考えています。







郡上大和 酒づくり研究会

岐阜県郡上市大和にある平野醸造の、水・杜氏・米すべて"メイドイン・ オールグジョー"な酒づくりを応援。2021年はコロナ禍により田植え などのお手伝いは控えましたが、12月には蔵開きに参加。無濾過原酒や 搾りたて原酒の試飲、また、これらを掛け合わせる試みも。蔵人や地域 の人との再会も楽しめました。来シーズンは田植えなどの活動にも参加 できることを願っています。





まちの人と一緒につくる

大ナゴヤ大学が培ってきた、

まちの魅力を掘り起こして場をつくる力、多様な人と人をつなげる力。

それらを必要としてくださる人たちと一緒に、

新たな事業も生み出し、育て続けています。







● やっとかめ文化祭

名古屋の歴史・文化と出会う

2021年で9年目を迎えた「やっとかめ文化祭」は、長い歴史のなかで 育まれてきた名古屋の魅力を一堂に集めた、都市文化の祭典です。 2015年から、名古屋市や中日新聞などで構成される実行委員会の 一員となりました。2021年は「まち歩きなごや」の新規コースの開拓 に力を入れ、新たに5名のガイドさんが誕生。これからも、名古屋の 新しい見方を発見・発信していきます。







城子屋 shirokoya

名古屋城を学びの場に

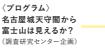
名古屋城を、かつての「寺子屋」のように地域に開かれた学びの場と するプロジェクト。多彩なテーマと城を掛け合わせたプログラムを 企画しています。2021年度は、大ナゴヤ大学企画の講座に加え、名古 屋城調査研究センターによる講座もスタート。本丸御殿 孔雀之間で の対面開催の他、名古屋城と関わりのある長野県木曽エリアからの オンライン配信など全7講座を実施しました。

福沢桃介と木曽川 ~木曽の山々に残る 雷力王の軌跡~











M SOCIAL TOWER PROJECT

名古屋のまちに新しいカタチの"社交場"を

2012年にテレビ塔のある公園でスタートした「SOCIAL TOWER MARKET」。2021年は、2019年以来2回目となる名古屋城を会場と し、過去最多の210のブースと120名を超えるボランティアスタッフ、 参加型DJ企画など、多くの皆さまと共に10年目のMARKETを開催 できました。大きな節目を迎えたMARKET。今後はより身近で日常 的な「社交場」をつくるために、新たな企画にも挑戦します。





DNUからの お知らせ

歩くまちには、何がある?「まちシル」始動!

2022年4月より、まちを知る楽しさを体感できるまち歩き形式のプロジェクト「まちシル」が始まりました。 2009年の開校以来、大ナゴヤ大学の大切にしてきた「まち」と「学び」に重点を置き、自らまちに出向いて こそ得られる学びを展開していきます。2022年度は $4\sim6$ 月 \cdot 9 \sim 11月の期間中に計18コマを実施予定です。



なつかしくてあたらしいし 円頓寺商店街界隈を歩こう



"ディープタウン"瀬戸へようこそし 2つのアーケード街 & 地上にある地下街を探訪

「学長|制度の廃止

「あなたがいれば、カタチが変わる」という理念を掲げているように、授業をつくるときに大切にしてきたのは 「一人目の生徒として自分が受けたい授業をつくる | こと。一人ひとり (あなた)の「つくりたい | 気持ちを 大切にしています。2020年に「城子屋」、2021年に「大ナゴヤの日」、2022年に「まちシル」が始まるなど、 ここ数年は新しい授業のスタイルがいくつも生まれてきました。

この状況を踏まえ、大ナゴヤ大学は「さまざまな学び・学び合いの場を提供するプラットフォーム」という 位置付けに。学長ではなく特定の目的の授業をつくりたいメンバーが中心となり、各自の意思に基づいて 授業づくりを進めていく仕組みをとることとします。

上記理由にともない、「学長」制度を廃止します。

「いる」を大事にできる場に

2021年度はリアル開催の授業も増やしつつ、スタッフ間のコミュニケーションは引き続きオンラインを中心に進めてきました。「まちシル」など新しい形式の授業を生み出すことにも注力。一方で、気軽な交流より目的優先の場が多くなり、「いる」という状態での参加が難しくなってきた…という反省も。これからも一人ひとりの顔の見えるやさしい関係性のコミュニティを育んでいきます。

理事長 大野 嵩明



丁寧な対話の場づくりを

コミュニケーションの在り方が多様になるなかで、対面でも、オンラインでも、率直な意見を交わせる対話の大切さがますます高まっているように感じます。と言うのは簡単ですが、真に行うのは易しくはないこと。経験や価値観の違いを乗り越えて、共に語り合い、学び合える場をひとつでも多くつくれたらと思っています。お互いに影響を与え、成長できる人のつながりを2022年度も大切に。

理事 小林 優太



共に学びを深められる場を

大ナゴヤの日を通じて「学びの入り口を広げる場」 づくりにチャレンジした一年。この挑戦のなかで 同時に、どうすれば「学びを深める場」をつくれるの だろうかと考える機会も増えました。深い学びは、 自ら仮説を立て、それを実践したときにはじめて得ら れるのではないかと思います。私自身、そして大ナ ゴヤに関わる一人ひとりが一歩踏み出せる環境を つくっていきたいです。

理事 山田 卓哉



もっと自分がワクワクする方へ

自分の生まれ育ったナゴヤについて知りたい。まちのヒト・モノ・コトと出会いたい。そんな思いで2021年9月より、職員という関わり方でDNUに入職しました。さまざまな仕事を経験するなかで、今年度は「まちシル」の立ち上げにも関わることができ、感慨深いです。世の中にあふれる知らないことを楽しみ、自分が面白いと感じるものを信じて、私らしく「大ナゴヤ大学のこれから」を形づくっていきたいです。

職員 小林 つぐみ



大ナゴヤ大学サポーター

サポーターの皆さまからいただいた寄付金は、事務所家賃・サーバー費・電話代・第2土曜に開催される授業の講師謝金などに充てさせていただきました。

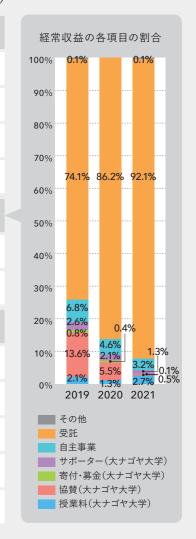
	2019年度	2020年度	2021年度
月額・年額 サポーター	41名	39名	36名
ワンタイム サポーター	1名	1名	0名
受取会費	373,143円	332,746円	189,277円

活動報告

活動計算書(会計期間:2021年4月1日~2022年3月31日)

(単位:円)

		2019年度	2020年度	2021年度		
	①受取会費	373,143	332,746	189,277		
奴 党顺 <i></i>	②受取寄付金	110,299	58,426	11,500		
経常収益	③事業収益	13,988,891	15,787,541	14,227,760		
	④その他収益	8,033	1,045	11,039		
経常収益合	計	14,480,366	16,179,758	14,439,576		
経常費用	①事業費	9,433,843	9,728,279	9,060,078		
社市貝用	②管理費	4,769,147	5,822,336	6,236,150		
経常費用合計		14,202,990	15,550,615	15,296,228		
当期経常増減額		277,376	629,143	▲856,652		
法人税等		129,600	191,700	71,000		
当期正味財産増加額		147,776	437,443	▲927,652		
前期繰越正味財産額		5,239,316	5,387,092	5,824,535		
次期繰越正	E味財産額	5,387,092	5,824,535	4,896,883		



2021年度の経常収益は14,439千円、経常費用は15,296千円でした。経常費用は、前年より削減したものの経常収益も減少し、当期経常増減額は▲856千円となりました。

フォロー・登録してね

SNSでも 大ナゴヤ大学の 情報を発信!



Facebook







Instagram





YouTube



大ナゴヤ・ユニバーシティー・ネットワーク 2021年度活動報告書

Dai Nagoya University Network ANNUAL REPORT 2021

進行:齊藤 美幸 制作:COUPGUT

特定非営利活動法人 大ナゴヤ・ユニバーシティー・ネットワーク 〒460-0011名古屋市中区大須3-42-30 ALA大須ビル201(事務局所在地)

TEL 070-5459-8213 E-mail dai-nagoya@univnet.jp

dai-nagoya.univnet.jp